

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	双胎妊娠における染色体異常の発生頻度に関する調査研究
研究責任者	笠井 靖代
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>先天性疾患は、新生児の3～5%に認められ、その25%は染色体の変化が原因であるとされています。高年妊娠では染色体異常の頻度が高くなる傾向があります。</p> <p>わが国における出生数は大幅に減少している一方で、妊娠の高齢化は進んでおり、胎児の染色体異常などの先天異常は発生率が上昇しています。いまだ双胎妊娠における染色体異常のリスクは確認されておらず、ダウン症候群の発生率が単体に比べ双胎妊娠で低く、特に一卵性双胎では低いとの報告があります。今回、双胎妊娠における染色体異常の発生頻度を後方視点に調査し、一卵性双胎では二卵性双胎に比べ、染色体異常の発生頻度が低いかを検討することを目的とします。</p>
研究方法	<p>2016年1月～2018年12月の3年間、当センターにて分娩された双胎を調査します。一卵性双胎および二卵性双胎における染色体異常の発生頻度を調査するにあたり、当センターの分娩台帳を基に総分娩数・双胎の分娩数・母体年齢・妊娠方法・染色体異常検査結果、合併症を抽出します。研究結果の公表に関しましては、氏名など個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上にて公表します。この研究結果のためにご自分のデータを使用して欲しくない場合は下記までご連絡下さい。</p> <p>この研究に希望されなかった場合でも不利益を被ることはありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:笠井 靖代 TEL:03-3400-1311 FAX:03-3409-1604</p>